

作成日：2015年10月3日

エコアクション21

2015 年度環境活動レポート

29期（2014年7月～2015年6月）



Eisyou

エイショウ株式会社

目次

| | | | |
|-----|-----------------|---|-----|
| 1. | 事業概要 | — | 1 |
| 2. | 企業理念 | — | 2 |
| 3. | 環境方針 基本理念及び基本方針 | — | 3 |
| 4. | 環境目標・実施報告 | — | 4-5 |
| 5. | 29期環境活動報告 | — | 6 |
| 6. | 取組活動状況 | — | 7 |
| 7. | 環境関連法規 | — | 8 |
| 8. | 環境経営システムの実施体制図 | — | 9 |
| 9. | 目標評価及び報告 | — | 10 |
| 10. | 代表者による見直し | — | 11 |

事業概要

1. 会社名 エイショウ株式会社
2. 代表者名 代表取締役 田中 達也
3. 本社所在地 静岡県沼津市若葉町3番46号
 TEL : 055-921-6606
 FAX : 055-921-6674
 E-mail : info@eisyoun.jp
 HP : http://eisyoun.jp/

第二資材倉庫所在地 静岡県沼津市足高178-2 (常設駐在人不)

4. 営業品目
 ○給排水衛生設備工事/空気調和設備工事/消防設備工事
 その他設備工事/水道施設工事/電気設備工事/土木工事に関する請負又は受託
 ○建物内外の保守管理/保安警備及び清掃業務
5. 資本金 2000万円
6. 環境管理責任者及び担当者連絡先 一杉 佳男 Tel.055-921-6606
7. 事業規模

| 活動規模 | 単位 | 第27期・H25年 | 第28期・H26年 | 第29期・H27年 |
|----------|----------------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 百万円 | 382 | 204 | 217 |
| 従業員 | 人 | 8 | 9 | 8 |
| 延床面積 | m ² | 366.43 | 366.43 | 366.43 |
| 敷地面積 | m ² | 251.39 | 251.39 | 251.39 |
| 第二資材倉庫面積 | m ² | 90 | 90 | 90 |

8. 建設業法許可種目
 静岡県知事許可(特・24)第037198号 管工事業
 静岡県知事許可(般・24)第037198号 土木工事、とび・土工事業、舗装工事
9. 登録
 指定給水装置工事事業者(13市3町)
 下水道事業排水設備指定工事店(11市4町)
 静岡県浄化槽工事事業者(第60)第03-009号
10. 認証・登録
 ISO9001:2008 QAC/R81/0112
11. 業務資格者 (重複あり)

| | | | |
|---------------|----|-------------|----|
| 監理技術者(管施) | 4名 | 消防設備士(甲類) | 2名 |
| 管工事施工管理技士(1級) | 4名 | 配管技能士(1級) | 1名 |
| 管工事施工管理技士(2級) | 1名 | 給水装置工事主任技術者 | 4名 |
| 土木施工管理技士(2級) | 1名 | 排水設備工事責任技術者 | 4名 |
| 配管技能士(2級) | 0名 | 電気工事士(2種) | 1名 |
| 浄化槽設備士 | 1名 | | |

企業理念

常に『挑戦』し、『人を大切に』する。

『お客様の視点』で、『公正・公平』であり続ける。

そして、『選ばれる人』・『選ばれる企業』になること。

環境方針

基本理念

私たちは、豊かな自然の恩恵を授かり営んでいます。

そんな豊かな自然が失われつつある今、地球の環境問題がなぜ起きたのか？

これからどうしなければいけないのか？

を真剣に考えていかなければなりません。

この素晴らしい豊かな自然を少しずつでも取り戻し、胸を張って次世代の子どもたちに残していきたいと考えます。

私たちエイショウ株式会社は、『出来ることから積極的に』・『改善しながら継続的に』環境負荷の低減に取り組んでまいります。

基本方針

- 1 「CO2」削減に配慮した省エネルギー活動を展開します。
「産廃物」そのものの削減と分別をし、再資源化に取り組みます。
雨水などの有効利用で「水」の節水に努めます。
- 2 機器類・事務用品のグリーン購入に努め、循環型社会の実現に貢献します。
- 3 事業活動による環境負荷を数値化し、環境負荷の削減に努めます。
環境保全活動をおこない、それらを定期的に見直し継続的な改善をおこないます。
- 4 現場作業における環境に配慮した技術改善をおこない施工します。
- 5 地域の環境保全活動に積極的な参加を通じて、地域社会の健全な発展に努めます。
- 6 環境に関する法規制と関連活動上必要と思われる要求事項の環境保全を遵守します。
- 7 環境方針を全社員に周知すると共に、必要に応じて社外に公開します。

2012年9月28日

静岡県沼津市若葉町3番46号

Eisyō エイショウ株式会社

代表取締役 田中達也

29 期 環境目標・実施報告

| 項目 | 単位 | 26期(2011.7~2012.6) | 29期(2014.7~2015.6) | | 29期(2014.7~2015.6) | | 評価 | 基準値差異 |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|--------------------|-------------|----|------------|
| | | 基準年実績 | 年間目標 | | 年間実績 | 目標値比 % | | |
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ | 39,671.313 | 29,445.897 | 27期を維持 | 36,668.539 | + 24.53 % | | -3,002.774 |
| ①購入電力 | kwh | 13,561.000 | 12,685.000 | 27期を維持 | 13,313.000 | + 4.95 % | | -248.000 |
| ②ガソリン使用量 | ℓ | 12,735.540 | 8,837.160 | 27期を維持 | 8,526.800 | ▲ 3.51 % | | -4,208.740 |
| ③軽油使用量 | ℓ | 982.100 | 719.740 | 27期を維持 | 970.690 | + 34.87 % | | -11.410 |
| 一般廃棄物 | t | 基準値の見直し | | % | 2.6 | | | |
| 産業廃棄物 | t | 基準値の見直し | | % | 50.92 | | | |
| 水資源排出量 | m ³ | 156 | 103 | 27期を維持 | 88 | ▲ 14.56 % | | -68 |
| 総物質投入量 | t | 0.2244 | 0.2064 | ▲ 1 % | 0.162 | ▲ 27.81 % | | -0.0624 |
| ②A4コピー用紙使用量 | 枚 | 40,000 | 35,000 | 27期を維持 | 30,500 | + ▲ 12.86 % | | -9,500 |
| ④A3コピー用紙使用量 | 枚 | 5,750 | 4,500 | 27期を維持 | 3,750 | + ▲ 16.67 % | | -2,000 |
| グリーン購入 | | — | 1品目 | | 1品目 | | | |
| 自社のサービスに関する目標 | | — | 調査 | | 調査 | | | |

◎達成 ○未達成だが減少傾向 ×未達成 ※未達成の場合は是正処置を記入すること。

※別紙にて評価報告

購入電力のCo₂換算計算として0.521kg-co₂kwhを用いています。

30 期 環境目標

中期目標(26期基準に32期までに)

グリーン購入、産廃関係については調査後目標を設定。

・二酸化炭素排出量 7%削減

・水資源排出量 現状維持

・産業廃棄物排出量 7%削減 リサイクル100%

・総物質排出量 4%削減

| 項目 | 単位 | 26期 | 30期 | | 31期 | | 32期 | |
|--------------|--------------------|--------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|
| | | (2011.7~2012.6) 基準年実績 | (2015.7~2016.6) 目標 | | (2016.7~2017.6) 目標 | | (2017.7~2018.6) 目標 | |
| 二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 39,671.313 | 36,894.321 | ▲ 7 % | 36,894.321 | ▲ 7 % | 36,894.321 | ▲ 7 % |
| ①購入電力 | kwh | 13,561.000 | 12,611.730 | ▲ 7 % | 12,611.730 | ▲ 7 % | 12,611.730 | ▲ 7 % |
| ②ガソリン使用量 | ℓ | 12,735.540 | 11,844.052 | ▲ 7 % | 11,844.052 | 0 % | 11,844.052 | 0 % |
| ③軽油使用量 | ℓ | 982.100 | 913.353 | ▲ 7 % | 913.353 | ▲ 2 % | 913.353 | ▲ 2 % |
| 一般廃棄物 | t | 基準値の見直し | | | | | | |
| 産業廃棄物 | t | 基準値の見直し | | | | | | |
| 水資源排出量の削減 | m ³ | 156.00 | 85.00 | ▲ 45 % | 85.00 | ▲ 45 % | 85.00 | ▲ 45 % |
| 総物質投入量の削減 | t | 0.2244 | 0.2177 | ▲ 3 % | 0.2154 | ▲ 4 % | 0.2154 | ▲ 4 % |
| ①A4コピー用紙使用量 | 枚 | 40,000 | 35,000 | ▲ 13 % | 35,000 | ▲ 13 % | 35,000 | ▲ 13 % |
| ②A3コピー用紙使用量 | 枚 | 5,750 | 3,750 | ▲ 34 % | 3,750 | ▲ 34 % | 3,750 | ▲ 34 % |
| グリーン購入 | | — | 調査 | | その後設定 | | その後設定 | |
| 自社サービスに関する目標 | | — | 調査 | | その後設定 | | その後設定 | |

29期環境活動報告

環境目標・環境活動計画/評価表

| 環境目標 | 取組項目 | 実施項目 | 評価 |
|-----------------------|----------------------------------|----------------------|----|
| 二酸化炭素 27期 現状維持 | 電力使用量の削減 | ・エアコンの設定温度 夏27° 冬22° | ○ |
| | | ・緑のカーテンを設置 | × |
| | | ・昼休みの消灯 | ○ |
| | | ・未使用時の電源OFF | ○ |
| | ガソリン使用料の削減 | ・アイドリングストップ | ○ |
| | | ・エコドライブの推進 | ○ |
| 軽油使用料の削減 | ・車両の使用前点検及び タイヤ空気圧点検 | ○ | |
| | ・オイル交換の実施 | ○ | |
| 廃棄物排出量 27期 現状維持 | 一般廃棄物排出量の削減 | ・ゴミ排出量の把握 | ○ |
| | | ・廃棄物分別の徹底 | ○ |
| | 産業廃棄物排出量の削減 | ・廃棄物の分別100%の達成 | △ |
| | | ・リサイクル・リユースの励行 | △ |
| | | ・鉄くず・アスファルト・塩ビの再生 | △ |
| | | ・リサイクル100%の達成 | × |
| 上水使用 27期 現状維持 | 水資源使用料の削減 | ・節水の推進 | ○ |
| 総物質投入量 1%削減 | コピー用紙の削減 | ・裏紙使用の徹底 | ○ |
| | | ・PDF及びAT使用の実施 | ○ |
| 粉塵・騒音・ 振動等の削減 | 騒音や振動に配慮 | ・緊急連絡網の作成 | ○ |
| | | ・施工計画書に則り施工 | ○ |
| 事務用品の グリーン購入 | 環境に優しく | ・使用文具 エコマークの確認 | ○ |
| | | ・リスト作成 | ○ |
| 自社の製品 サービス | 現場作業における環境に 配慮した技術改善を行い 施工 | ・現場で出るゴミの分別 | ○ |
| 環境活動の 社会貢献 | 地域貢献 清掃等 | ・1件以上取り組む | ○ |
| | エコキャップ回収等 | | |

エコアクション取組状況

車両オイル交換管理表

車両の管理は個人ごとに行っていますが、整備に関して統一できていない部分がありました。

5,000キロ走行する毎にオイル交換を行った方が良いという事を整備士に教えてもらいました。

燃費が良くなることにもつながってくるので、管理表を作成しました。(別紙参照)



グリーン購入リストの作成

日常使用頻度・購入頻度の高い文具でグリーンマークが付いているものをリストアップしました。(別紙参照)

文具を注文する上で、グリーンマークが付いている商品を購入するようにしています。

第二倉庫危険物の把握

第二倉庫に保管してある危険物・化学薬品の量について把握する為に、

どの種類の物がどれだけあるかを表にしました。

地域貢献 清掃等 エコキャップの収集



事故及び緊急事態の想定とその対応策・取組状況

2014年10月3日

| 想定される緊急事態 | 原因 | 対応策 |
|--------------------|---|--|
| 使用する機械、車両の燃料が流出する。 | 機械持ち運び時の手元不注意による落下。 点検不足による給油口や燃料タンクの破損。 | 使用前点検の実施、重量機械の単独作業による持ち運びをしない事を周知する。 万が一燃料が流出した際には、直ちにオイルマットにて流出の拡大を防止し、付近の火気や引火物の回収、撤去を行い、会社・担当課へ報告する。 |
| 産廃ボックスから廃棄物が飛散する | 台風、突風などによる天災 | ボックスから溢れるほどの、過度な積込がないようにする。 又、シートカバーをかけ、突風による飛散の防止を常に図る。 天気予報にて被害の想定ができる場合には直ちに周知、養生の強化を実施する。 事態が起きた場合には速やかに会社・担当課へ報告し、飛散物の回収を行う。 |

取組状況

・上記内容の周知実施状況



・上記内容の想定訓練実施状況



環境関連法規

対象法規制リストと厳守状況

| 関連法規等の名称 | 規制詳細 | 規制の適用 | 遵守評価 | |
|----------|--|------------------------------------|---------------------|-------------|
| | | | 評価項目 | 結果 |
| 水道法 | 指定工事店登録 設置の届出 使用資材の構造・更新 | 登録(総務課) 届出(営業部) 使用材料(技術部) | 許可証 申請書 施工計画書 | ○ ○ ○ |
| 下水道法 | 指定工事店登録 設置の届出 水質基準、使用資材の構造・基準 | 登録(総務課) 届出(営業部) 使用材料(技術部) | 許可証 申請書 施工計画書 | ○ ○ ○ |
| 浄化槽法 | 施設の設置・変更及び廃止の届出 浄化槽の施工方法 水質定期検査 | 施工方法(技術部) | 施工計画書 | ○ |
| 廃棄物処理法 | 廃棄物の適切な処理 処分業者との委託契約 保管場所での分別表記 年間実績の報告 | 排出時(技術部) 契約(技術部) 報告(営業部) | マニフェスト 契約書 | ○ |
| 建設リサイクル法 | 分別解体・分別搬出の義務化 施工計画に基づくリサイクルの実施 年間実績の報告 | 解体・搬出中(技術部) 施工中(技術部) 報告(営業部) | 施工計画書 | ○ |
| 騒音規制法 | 規制基準の厳守 | 施工中(技術部) | 施工計画書 | ○ |
| 振動規制法 | 規制基準の厳守 | 施工中(技術部) | 施工計画書 | ○ |
| 沼津市条例 | ごみの分別・排出基準 | ゴミ排出時(事務所) | — | ○ |
| グリーン購入法 | 環境物品の購入 建設資材におけるグリーン購入の実施 | 物品購入時 (事務所・技術部) | 納品書 | △ |

評価者
(管理責任者)



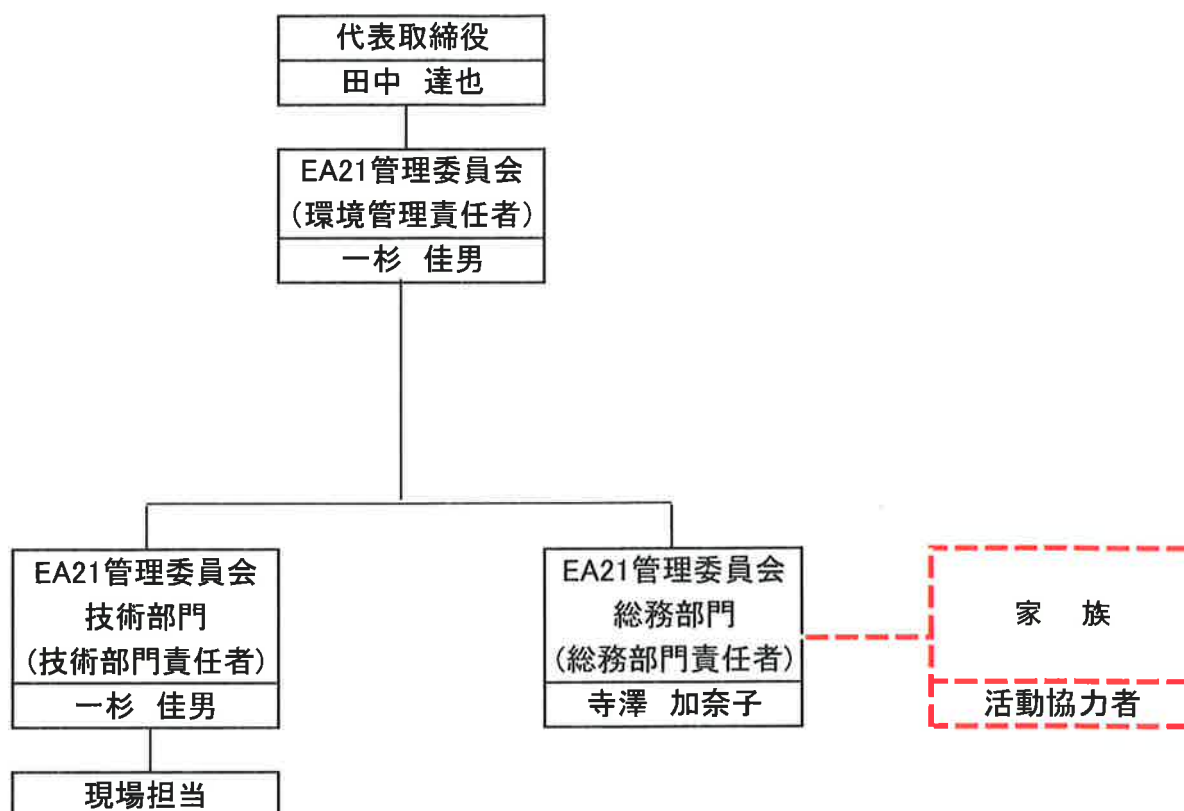
評価者: 寺澤 加奈子

評価日: 2015年10月2日

違反・訴訟の有無

関連法規制等の順守状況の評価の結果、法規制等の逸脱はありませんでした。

環境経営システムの実施体制図



◎ 責任と役割及び権限

| | |
|---------|-------------------------|
| 代表取締役 | 環境方針の策定 |
| | 環境管理責任者の指名 |
| | 資源(人材・資金・技術)の用意 |
| | システムの評価と見直し |
| 環境管理責任者 | 環境目標の設定の立案と、環境負荷削減対策の展開 |
| | 取組状況の確認及び問題点の是正 |
| | システムの実績を代表者に報告する |
| | 環境負荷チェックシートの定期的確認・管理 |
| | システム運営上の事務管理 |
| | 外部コミュニケーション窓口 |
| 総務部門責任者 | 月ごとの実績数値の算出を行う |
| | 事務所全体の環境活動の推進 |
| 技術部門責任者 | 現場より出された産廃物の分別チェック |
| | 現場担当者への取組の徹底 |
| | 現場全体の環境活動の推進 |

【環境経営システム有効性評価】

- ①環境関連法規制順守状況 —— 平成27年10月2日厳守状況確認 —— 確認結果:厳守されている
- ②是正処置・予防処置の有無 —— 無し
- ③各部門の取組状況 —— 全ての部門において取組は実施されています。(29期環境活動報告参照)

—評価—

- ・各部門での取り組みはそれぞれ行われています。グリーン購入に関しては、1品目ですがエコマークのリストより取り入れました。
- 現場でのグリーン購入については、該当項目の調査段階です。

【取組の適切性の評価】

①目標達成の報告

一部環境目標未達成(環境目標—運用期間目標及び実績参照)

—評価—

- ・購入電力は、増加傾向にあります。今一度、会社全体で意識を見直し取り組んでいきます。
- ・ガソリン・軽油使用量は、増加しています。遠距離での工事が多かったことが原因に上げられます。目標値の見直しを検討していきます。
- ・オイル交換を定期的に行うことで、燃費良くなると思います。
5,000^{キロ}ごと、又は車検時にオイル交換を行うよう社員間で徹底しています。
- ・廃棄物排出量は、前年より増加しています。工事の内容による変動が大きくなっています。現場での分別を再度見直していきます。
引き続き、3Rは取り組んでいきます。
- ・水資源排出量は、現状維持に対して、資材置き場での微増でした。車両の洗車時など無駄のないように注意していきます。
- ・総物質投入量(コピー用紙)については、削減できました。しかし、工事内容によって変動が大きい為枚数の削減だけでなく、PDFの利用、排紙の利用を徹底させています。

②活動計画の達成状況

一部未達成有り(29期環境活動報告参照)

—評価—

- ・前年比より増加傾向でした。工事の件数や内容、そして長距離移動によるものが大きく影響しました。基準値の見直しを考えていきたい。
- ・現場でのグリーン購入がどれだけ可能なのか、調査から始めていきたい。

【外部環境変化への対応】

- ・法規制の改正対応およびその他要求事項対応
- ・関連法規制等の順守状況の評価の結果、法規制等の逸脱はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し記録

代表者印



《適切性、妥当性、有効性の評価》 実施日 2015年 10月3日

| | 環境管理者よりの報告内容・提案 | 代表者からの指示事項 | 変更の必要 | | |
|---------------|--|---|-------|---|--|
| | | | 有 | 無 | 管理責任者コメント |
| 環境経営システム有効性評価 | <p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制順守状況 平成26年10月3日厳守状況確認 確認結果：厳守されている</p> <p>②是正処置・予防処置の有・無 <有りの場合の内容> —</p> <p>③各部門の取組状況 <input type="checkbox"/> 各部門計画通り <input checked="" type="checkbox"/> 一部計画遅れの部門有り <input type="checkbox"/> 各部門大幅に計画遅れ <遅れ内容> 29期環境活動報告による</p> | <p>【環境方針の見直し】</p> <p>・問題なし</p> <p>・問題なし</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 電力・水道の増加など 全社員の意識の低下が みられる。初心にかえり 取り組んで載きたい。 引き続き法令順守を徹 底させましょう。 </div> | — | — | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 今後、現場での取 り組みの強化をし ていきます。 全体会議等を通し てグリーン購入・ 3Rの理解等を深 め社員の意識向 上に努めます。 </div> |
| 取組の適切性の評価 | <p>【目標・活動計画の達成状況】</p> <p>①目標達成状況の報告 <input type="checkbox"/> 環境目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部環境目標未達成 <input type="checkbox"/> 大幅に未達成 <未達成内容> 29期環境目標及び実施報告による</p> <p>②活動計画の達成状況 <input type="checkbox"/> 概ね達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 大幅に未達成 <未達成内容> 29期環境活動報告評価表による</p> | | | | |
| 外部環境変化への対応 | <p>【法規制の改正対応および その他要求事項対応・他】 法規制—違反や訴訟は ありませんでした。 その他別紙報告書参照</p> | ・問題なし | — | — | |